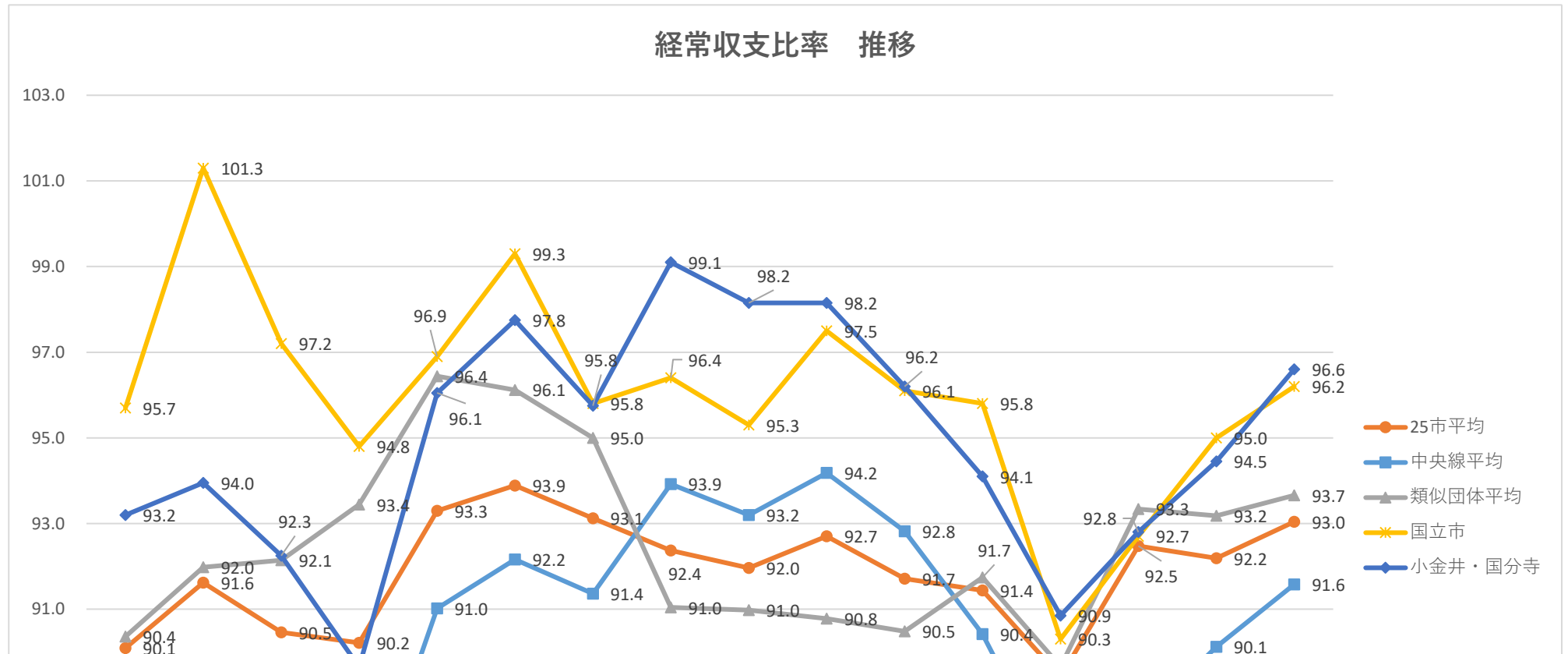
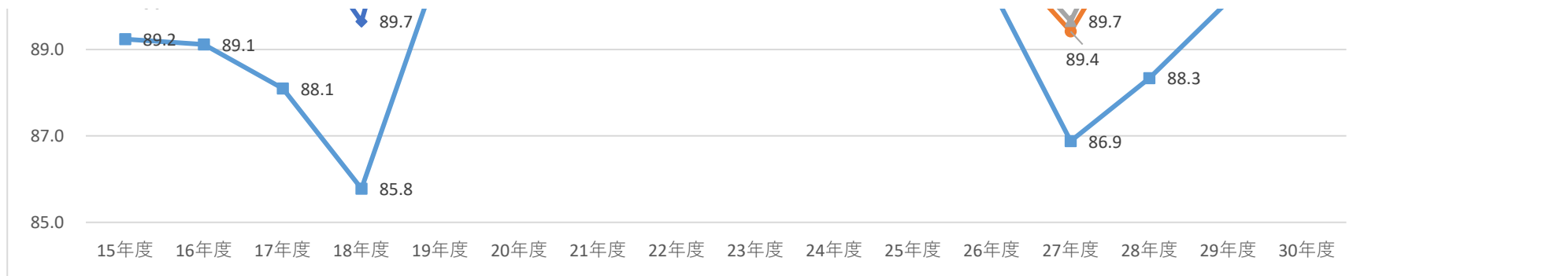


経常収支比率の推移

【経常収支比率】

地方自治体の財政の弾力性を示し、経常的な支出（人件費・扶助費・公債費等）を経常的な収入（市民税・法人税等）でどれだけ賄えているかを図る指標のことをいう。この比率が100%を超えると、経常的な支出を経常的な収入で賄えていないこととなり、臨時需要に対して財政的余裕がなくなっている状態となります。また、比率が低いほど公共事業や新規事業を実施する財政的余裕があることを表します。





※総務省「地方財政状況調査」抜粋

※中央線沿線市：立川市、武蔵野市、三鷹市、小金井市、国分寺市

※類似団体市：福生市、東大和市、清瀬市、稲城市、あきる野市